

第 IV 部

平成 25 年度全国精神保健福祉センター長会
第 49 回全国精神保健福祉センター研究協議会

第49回全国精神保健福祉センター研究協議会開催プログラム

会場：一般財団法人 三重県教育文化会館

場所：三重県津市桜橋2丁目142番地

第1日目 平成25年10月22日（火）

○ 全国精神保健福祉センター長会理事会

| | | |
|-------------|-------------------|-----------------|
| 10：00～11：00 | 理事会受付 | 第5会議室 (本館3階) |
| 11：00～12：00 | 全国精神保健福祉センター長会理事会 | |

○ 全国精神保健福祉センター長会会議

| | | |
|-------------|------------------|----------------|
| 12：30～13：00 | センター長会受付 | 大会議室 (本館5階) |
| 13：00～14：45 | 全国精神保健福祉センター長会会議 | |

○ 全国精神保健福祉センター研究協議会

| | | |
|-------------|---|----------------|
| 12：30～14：40 | 研究協議会受付 | 大会議室 (本館5階) |
| 14：55～15：05 | 全国精神保健福祉センター研究協議会 開会式 | |
| 15：10～16：00 | 講演 「精神保健福祉行政の動向」 厚生労働省精神・障害保健課 課長補佐 福生 泰久 氏 | |
| 16：10～17：00 | 講演 「伊勢の神宮と遷宮 一森と清流に生かされて一」 皇學館大学文学部神道学科 教授 櫻井 治男 氏 | |

○意見交換会

| | | |
|-------------|-------|-----------------|
| 17：30～19：00 | 意見交換会 | 陶陶津店 (中華料理店) |
|-------------|-------|-----------------|

第2日目 平成25年10月23日（水）

○ 全国精神保健福祉センター研究協議会

| | | |
|-------------|-----------------------|----------------|
| 8：50～9：10 | 研究協議会受付 | 大会議室 (本館5階) |
| 9：10～12：25 | 一般演題A～C | |
| 12：25～13：40 | 休憩 | |
| 13：40～15：45 | 一般演題D～E | |
| 15：45～15：55 | 全国精神保健福祉センター研究協議会 閉会式 | |

講演

精神保健福祉行政の動向

厚生労働省精神・障害保健課

課長補佐 福生 泰久 氏

【メモ】

講 演

伊勢の神宮と遷宮 — 森と清流に生かされて —

皇學館大学文学部神道学科 教授 櫻井 治男 氏

【メ モ】

第49回全国精神保健福祉センター研究協議会

一般演題発表プログラム

平成25年10月23日（水）

9：10～15：45

一般演題発表プログラム

A 制度・プログラム等 9:10～10:15 座長：丹羽 伸也 (岐阜県 精神保健福祉センター所長)

| 誌上 | No | 演 題 名 | 所 属 名 | 発表者名 | 頁 |
|---------------------|----|--|-----------------------|---------|----|
| | 1 | 青森県における「こころの電話」の実施状況と課題 | 青森県立精神保健福祉センター | 鈴木 早 苗 | 10 |
| | 2 | 群馬県こころの健康センターにおけるメール相談事業について | 群馬県こころの健康センター | 丹 羽 由香里 | 12 |
| | 3 | 集団認知行動療法を用いた「うつ病デイケア」の有効性とその普及方法について | 長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター | 廣 重 次 郎 | 14 |
| | 4 | 福岡市精神保健福祉センターにおける高次脳機能障害者の就業プログラムの取り組みについて | 福岡市精神保健福祉センター | 安 部 大 和 | 16 |
| | 5 | うつ病復職支援プログラムにおける成果と課題 | 千葉県精神保健福祉センター | 野々村 菜 穂 | 18 |
| | 6 | 精神保健福祉相談の相談支援体制について ー精神保健福祉センターにおける専門相談化への移行ー | 三重県こころの健康センター | 羽 根 正 樹 | 20 |
| | 7 | 集団認知行動療法を取り入れたリワーク支援プログラムの取り組み | 名古屋市精神保健福祉センター | 宮 田 明 美 | 22 |
| ○ | 8 | 高次脳機能障害支援普及事業における精神保健福祉センターの役割 | 長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター | 井 戸 裕 彦 | 24 |
| 質疑及び座長まとめ (10:15まで) | | | | | |

B ひきこもり・依存症等 10:20～11:25 座長：内田 勝久 (静岡県 精神保健福祉センター所長)

| 誌上 | No | 演 題 名 | 所 属 名 | 発表者名 | 頁 |
|---------------------|----|--|---------------------|---------|----|
| | 9 | ひきこもり家族グループの10年間のまとめと有効性に関する一考察 | 仙台市精神保健福祉総合センター | 伊 藤 晃 代 | 28 |
| | 10 | ひきこもり相談センター開設によるひきこもり相談の量・質的变化 | さいたま市こころの健康センター | 武 田 典 子 | 30 |
| | 11 | ひきこもり相談利用者が広汎性発達障害の診断を受けるまでの支援 | 堺市こころの健康センター | 岩 田 光 宏 | 32 |
| | 12 | 心理教育を取り入れた薬物問題家族教室の取り組みについて | 兵庫県精神保健福祉センター | 撫 本 裕 子 | 34 |
| | 13 | 薬物再乱用防止教室の取組みに関する一考察 | 広島県立総合精神保健福祉センター | 松 岡 明 子 | 36 |
| | 14 | 大分アディクションフォーラムにおける自助グループ支援の視点と工夫 自助グループの主体性を高めるための取組み | 大分県こころとからだの相談支援センター | 茨 木 由 紀 | 38 |
| | 15 | 浜松市における依存問題対策事業について | 浜松市精神保健福祉センター | 鈴 木 多 美 | 40 |
| ○ | 16 | 川崎市におけるひきこもり支援の現状と課題について | 川崎市精神保健福祉センター | 山 田 友 悟 | 42 |
| 質疑及び座長まとめ (11:25まで) | | | | | |

C 精神科医療等 11:30～12:25 座長：古田 壽一 (富山県 心の健康センター所長)

| 誌上 | No | 演 題 名 | 所 属 名 | 発表者名 | 頁 |
|---------------------|----|---|--------------------|---------|----|
| | 17 | 法律相談区市町村支援事業の取り組みについて ー平成20年度から5年間のまとめー | 東京都立中部総合精神保健福祉センター | 林 智 子 | 46 |
| | 18 | 滋賀県の措置入院患者等の治療中断防止支援にかかる調査について ～保健所の実態調査からみえてきたこと～ | 滋賀県立精神保健福祉センター | 葛 原 史 博 | 48 |
| | 19 | 静岡県内の医療機関における認知行動療法実態調査 | 静岡県精神保健福祉センター | 杉 森 加代子 | 50 |
| | 20 | 精神科入院患者の自殺率について | 新潟県精神保健福祉センター | 阿 部 俊 幸 | 52 |
| | 21 | 成人の発達障がい現状と課題 ～精神保健福祉センターにおける精神保健福祉相談から～ | 鳥取県立精神保健福祉センター | 白 岩 有 里 | 54 |
| ○ | 22 | 「精神医療相談窓口および精神科救急情報センターの実施体制に関する調査」を実施して | 埼玉県立精神保健福祉センター | 河 本 次 生 | 56 |
| ○ | 23 | 鳥取県における措置入院制度の運用状況 ～平成24年度の実績及び13年度、18年度との比較から～ | 鳥取県立精神保健福祉センター | 原 田 豊 | 58 |
| ○ | 24 | 北九州市における医療保護入院に至る受診経路に関する考察(第1報) ー医療保護入院者の入院届(第1項)の分析からー | 北九州市立精神保健福祉センター | 矢ヶ部 陽 一 | 60 |
| ○ | 25 | 三重県における「医療観察制度支援システム」構築に向けた取組み | 三重県こころの健康センター | 三 上 政 和 | 62 |
| ○ | 26 | 精神科病院に入院が必要な自殺未遂者の傾向について ～医療保護入院届けの分析から～ | 滋賀県立精神保健福祉センター | 西 田 大 介 | 64 |
| 質疑及び座長まとめ (12:25まで) | | | | | |
| 昼食・休憩 12:25～13:40 | | | | | |

D 自殺対策 13:40～14:45 座長：角田 雅彦 (石川県 こころの健康センター所長)

| 誌上 | No | 演 題 名 | 所 属 名 | 発表者名 | 頁 |
|---------------------|----|---|-----------------|---------|----|
| | 27 | 神奈川県の自殺対策の現状と課題 神奈川県精神保健福祉センターでの取り組みを通じて | 神奈川県精神保健福祉センター | 桑 原 寛 | 68 |
| | 28 | 我が国の自死遺族支援の現状 ～24年度調査から～ | 横浜市こころの健康相談センター | 櫻 井 善 啓 | 70 |
| | 29 | 岐阜県における自死遺族支援 ～今後の自死遺族支援の在り方～ | 岐阜県精神保健福祉センター | 伊 藤 亜 古 | 72 |
| | 30 | 精神保健福祉センターが行う自死遺族相談の意義について | 静岡市こころの健康センター | 藪 田 尚二郎 | 74 |
| | 31 | 自損行為を行う者及びその家族に対する消防職員の対応に関する アンケート調査について | 石川県こころの健康センター | 川 本 晶 広 | 76 |
| | 32 | 地域における自殺予防ゲートキーパー養成の現状と課題 | 北海道立精神保健福祉センター | 阿 部 浩 美 | 78 |
| ○ | 33 | かながわ自殺対策会議「自殺対策に関する出前講座」事業報告 ～教育現場での自殺対策に関する取り組みの現状と今後の課題～ | 神奈川県精神保健福祉センター | 佐々木 康 | 80 |
| ○ | 34 | 浜松市における自殺未遂者対策 ～地域を含めた包括的支援にむけて～ | 浜松市精神保健福祉センター | 深 田 典 子 | 82 |
| ○ | 35 | 学校現場における自殺予防教育導入に向けて～臨床心理士会・教 育委員会との協働による実践報告及びそのあり方の検討～ | 北九州市立精神保健福祉センター | 長 崎 明 子 | 84 |
| ○ | 36 | ゲートキーパー養成研修の評価の試み | 島根県立心と体の相談センター | 石 川 祐 子 | 86 |
| ○ | 37 | 「メンタルパートナー養成事業」報告 | 三重県こころの健康センター | 出 口 理 恵 | 88 |
| 質疑及び座長まとめ (14:45まで) | | | | | |

E 地域生活支援等 14:50～15:45 座長：二宮 貴至 (浜松市 精神保健福祉センター所長)

| 誌上 | No | 演 題 名 | 所 属 名 | 発表者名 | 頁 |
|---------------------|----|--|------------------------|---------|-----|
| | 38 | 相模原市精神保健福祉センターにおける「メンタルヘルス・ ファーストエイド」を用いた普及啓発事業について | 相模原市精神保健福祉センター | 鈴 木 志麻子 | 92 |
| | 39 | 都立精神保健福祉センターにおけるアウトリーチ支援事業の実績 報告と考察～特に未治療者への支援について～ | 東京都立精神保健福祉センター | 飯 嶋 祐 | 94 |
| | 40 | 多摩総合精神保健福祉センターのアウトリーチ支援事業、短期宿 泊事業 ～3年間の取り組みにおける成果と課題～ | 東京都立多摩総合精神保健福祉セン ター | 遠 藤 伊豆美 | 96 |
| | 41 | 岡山県精神保健福祉センターにおける多職種アウトリーチ支援に ついて ～アウトリーチ支援の有効性の考察～ | 岡山県精神保健福祉センター | 橋 本 吉 弘 | 98 |
| | 42 | 精神障がい者への地域定着支援の有効なあり方について | 大阪市こころの健康センター | 山 田 和 子 | 100 |
| | 43 | 医療観察法下の地域処遇への関わりについて ～関わり視点の整理を中心に～ | 埼玉県立精神保健福祉センター | 加 藤 洋 子 | 102 |
| ○ | 44 | 川崎市精神保健福祉センターにおける心神喪失者等医療観察法対 象者への支援 | 川崎市精神保健福祉センター | 森 江 信 子 | 104 |
| 質疑及び座長まとめ (15:45まで) | | | | | |

お願い

- 各演題の発表時間は、7分以内です。厳守してください。
- 座長及び発表者は、次頁の「一般演題発表について」をご確認ください。